

ハゲタカジャーナル（粗悪学術誌）にご注意ください

図書館長 久岡 正典

最近のマスコミ報道等で問題となっている質が十分に保証されていない粗悪な雑誌（ハゲタカジャーナル）への投稿が後をたたないということで、多くの大学で対応策をとっています。

ハゲタカジャーナルに投稿してしまうと、①不当な掲載料の請求を受ける、②撤回に応えしてもらえず他誌に発表できない、③掲載により業績への評価や研究の信頼性を下げってしまう、④本学の名誉を傷つける、などの不利益につながる可能性があります。

図書館では、対応策として①図書館通信 No. 59 の発行②ハゲタカジャーナルをテーマにした第3回図書館セミナーを4月16日（火）に開催いたしますので、是非、ご参加ください。

研究者の皆様には、粗悪な学術雑誌への投稿リスクを十分ご理解の上、論文の投稿先を慎重にご検討くださいますようお願いいたします。

●図書館通信 No.59 ハゲタカジャーナルを知ろう！！～ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために～

●参考サイト ※図書館ホームページ・リンク集に掲載しています。

1. ホワイトリスト

DOAJ:Directory of Open Access Journals

(編集委員の確認ができていて、所定の条件を満たしたジャーナルのみを掲載)

<<https://doaj.org/>>

2. ブラックリスト

Beall's List of Predatory Journal and Publishers

(コロラド大学デンバー校の准教授で司書であったジェフリー・ビールの作成したハゲタカ出版社とハゲタカジャーナルのリスト)

<<https://bealllist.weebly.com/>>

3. チェックリスト

Think,Check,Submit(日本語版)

(信頼できる雑誌を選ぶためのチェックリスト)

<<http://thinkchecksubmit.org/translations/japanese/>>